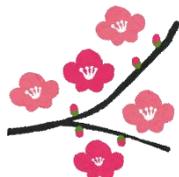




小平二中だより

令和6年度 第11号
発行 令和7年2月3日
小平市立小平第二中学校
校長 吉田 功



学校評価と来年度の展望

副校長 相澤 史彦

2月に入りました。平年を下回る平均気温であった厳寒の1月から、今月は平年並みに戻る予報が出ています。厳しい寒さが続きますが、春の兆しを感じることも遠くはなさそうです。

先日、15名出席の下で第5回学校経営協議会が開催されました。この時期は、保護者・生徒・教職員による学校評価から教育活動全般を振り返り、成果と課題を次年度につなげる話し合いを行っています。今回の評価結果について、委員の方から概ね良好である、とお話をいただきました。本校の教育目標を達成するため、今年度四つの柱（生徒のウェルビーイングの向上、学ぶ意欲・学力の向上、家庭・地域との連携強化、教職員の志・組織力の向上）を立て、具体的な取り組みを重ねてきた成果、と嬉しく思います。その反面、いじめや不登校など現代的課題や、来年度の学級数・組織などについてもご意見をいただきました。そして、今後も子ども達が楽しく生活できる学校になってほしい、と委員長からお話がありました。また、一部の保護者からも全体の結果分析からでは見えない、ハッと気付かされるようなご意見を頂戴しています。これらは全て学校運営の改善につながり、貴重なお声とありがたく受け止めております。保護者の学校評価のまとめにつきましては、本便りの後半部に掲載しておりますのでご覧ください。

協議会では学校評価についての議題の他、学校長より令和7年度の学校経営方針案が提案され、委員の承認を受けました。来年度は今年度の経営方針を継続・進化させていくことに加え、重点項目を2点示しています。まず1点目は、自閉症・情緒障がい特別支援学級の開級初年度に当たり、運営を軌道に乗せることです。現在、北校舎2階の各教室は改装工事を終え、机・椅子をはじめ物品が納品されてハード面を整えています。今後は、入級してくる生徒が学びを豊かにできるよう、教育課程に基づく学習環境の整理や、教員配置をはじめ人的サポート体制の構築を行っていきます。2点目は、小平市研究指定校として2年目となる研究を充実させることです。研究主題「非認知能力を高める指導方法の工夫」について、主体性を高めて自ら進んで行動できる生徒を目指し、日々全教育活動で実践していきます。具体的には、目標や計画を自ら考えること、グループや学級での話し合い活動などの共同学習、発表などの実践（資料や原稿の作成を含む）、振り返り等を充実させていきます。そして学校HPにも研究状況を掲載します。

学校運営は、上記のとおりPDCAサイクルで進化・改善をはかっています。その根底にあるのは、全ての生徒が心身ともに健康で、明るく学校生活を送ってほしい、という私共の願いです。今後とも教育活動へのご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

自閉症・情緒障がい特別支援学級名

来年度開設される自閉症・情緒障がい特別支援学級の愛称が「S組」となりました。Sには、「Support」や「Smile」、「Shining」などの意味が込められています。

名称を考えるにあたって、小平二中の学級名がすべてアルファベットであることを踏まえ、今後学級数が増える可能性があることも加味し、知的障がい特別支援学級「G組」以降のアルファベットで適切なものを候補として挙げるようにしました。話し合いには、生徒会も参加し、I組、K組、S組の3つの候補を挙げ、生徒会朝礼で趣旨説明をしたのち、全校生徒に向けてアンケートを取り、半数近い生徒がS組に投票する結果となりました。これを踏まえ、最終的に「S組」と決定しました。

(自閉症・情緒障がい特別支援学級開設準備委員 五十嵐 武史)

小平市特別支援学級合同作品展

令和7年1月22日(水)～26日(日)に第41回小平市特別支援学級合同作品展がルネこだいら展示室で開催されました。市内の小中特別支援学級11校が出展しました。それぞれにテーマがあり、イメージを膨らませた個性豊かな作品でした。23日(木)には、G組生徒達が作品の見学をしました。来年どんな作品を作りたいかなど、他校の作品を見ながらイメージを膨らませていました。作品は、3月の校内作品展でも展示しますのでぜひお楽しみいただければと思います。
(G組担当 峰野 愛子)

スキー移動教室を終えて

天候にも恵まれ、何より生徒全員が健康に三日間を過ごすことができたスキー教室となりました。

菅平高原での二泊三日のスキー移動教室は、1年生にとって中学校で初めての宿泊行事でした。初めてということもあり、事前の準備では、生徒同士で三日間のルールや持ち物などを何度も何度も話し合いの上で決定していきました。また、今回のスキー移動教室の一番の目的は「集団生活の中で、仲間と協力する心、ルールやマナーを身に付ける」ということでした。この目的を達成するために生徒全員が自分自身にできることを考えました。その成果もあり、三日間を通して全員が五分前行動をするなど、時間を意識して行動することができました。1日目のスキー技能の実習中は、何度も転ぶことや上手く板を操作ができない様子が多々見られましたが、誰も諦めることなく挑戦する姿がありました。三日目の実習では、自分一人の力で斜面を滑り降りてくることができました。

三日間を通して、生徒全員の努力や成果をたくさん発見しました。この力を三学期の残りの期間にも活かしていってほしいと思います。
(1学年主任 布内 聡司)

福祉体験学習・ボッチャ体験

1月22日(水)、24日(金)に、たいよう福祉センター・小平市ボッチャ協会・ボランティアセンターの方々にご来校いただきボッチャ体験を行いました。2クラスずつ1時間の授業で、普通に投げるだけでなく、車いすやランプを使用して投げたり、目隠しした状態や利き手ではない手で投げることも体験しました。生徒は、「車いすやランプは初めてだった」「障がいがある大変さを知った」「お互いを理解し合うことはすごく大切」「ボッチャは誰でもできるスポーツで楽しい」など、様々な感想をもったようです。気付きのある機会となりました。来校いただいた皆さんには事前の準備や当日の会場づくりまでしていただき感謝いたします。来年度も貴重な経験ができればと考えています。
(福祉体験担当 宮本 貴史)

2年校外学習

2年生は1月24日(金)に浅草・上野に校外学習へ行きました。スローガンは「TOKYO」です。T・TPOをわきまえる 0・思いやりの心をもって K・計画的に行動して Y・よく学び 0大きく成長しようと掲げました。初めての班行動となるため、一人一人が係の役割を把握し、計画していくことが求められました。ルートや見学施設の決定、予算の把握や食事場所の予約など、各係が班の中で活躍しました。当日は文化的施設を訪れ、各教科をベースにしたテーマに沿って学習する中で多くの発見があり、もっと学びたかったとの声が多くありました。また、移動時の満員電車で驚いていた生徒も多く、普段の学校生活ではできない経験ができ、笑顔がたくさん見られ、本当に生き生きとした姿を見ることができました。班の中で試行錯誤した計画がうまくいった部分も多くありましたが、それぞれの課題や反省もありました。今回の経験や気付きを3年生の修学旅行に向けて生かし、更なるステップアップを目指していきます。
(2学年教諭 高橋 夏美)

【生徒の活躍】

【サッカー部】

高円宮杯 1月開幕 中学生交流リーグ VS 福島中学校 (5-1) 勝

【バドミントン部】

令和6年度冬季Eブロック大会

男子シングルス 第3位 (2年)、 (1年)

男子ダブルス 優勝 (2年)・ (1年)

準優勝 (2年)・ (2年)

女子シングルス 第3位 (1年)

女子ダブルス 優勝 (1年)・ (1年)

令和6年度 第26回東京都中学生冬季バドミントン大会

女子ダブルス 第5位 (1年)・ (1年)

【バレーボール部】

第2回フレンドシップ杯 第3位 ベストセッター賞 (2年)

【女子バスケットボール部】

立川こぶしロータリー杯 VS 桐田中学校 (23-61) 負、VS 三鷹第三中学校 (70-33) 勝

【卓球部】

中体連第10ブロック新人卓球大会 男子団体 第5位 (東京都中学校新人卓球大会出場)

【令和6年度全国中学生人権作文コンテスト】

東京都大会作文委員会賞 (2年)、小平市人権擁護委員会賞 (2年)



【2月の主な行事】

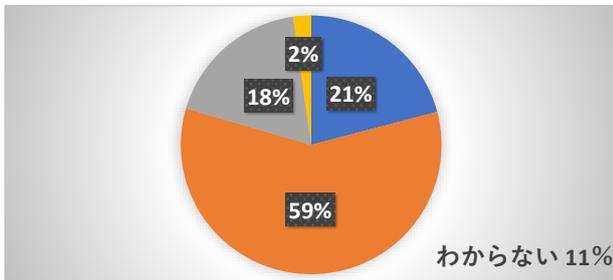
日	曜	行事	日	曜	行事
2	日	こだいら市民駅伝大会	15	土	避難所開設準備委員会
3	月	朝礼	17	月	生徒会朝礼
5	水	⑤中学校体験入学 ④⑤入替	20	木	②～⑥ESAT-J(1)(2)
6	木	安全指導	21	金	都立一般入試 3年④～⑥カット
10	月	私立一般入試 3年④～⑥カット	23	日	天皇誕生日
11	火	建国記念の日 私立一般入試	24	月	休日
12	水	私立一般入試 授業研究(1) ⑤カット(2,3)	25	火	学年末テスト始
13	木	劇と音楽の会リハーサル(G) 中央委員会	27	木	学年末テスト終
14	金	劇と音楽の会(G)	28	金	保護者会(2)⑥カット

令和6年度後期 保護者学校評価まとめ 小平第二中学校

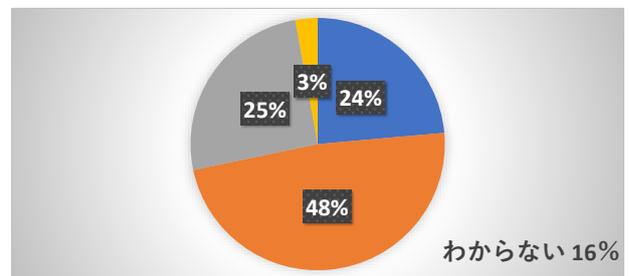
実施期間：令和6年12月2日～12月9日 回答数：253名 回答方法：Forms1によるオンライン回答

■ 1 そう思う ■ 2 ややそう思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない

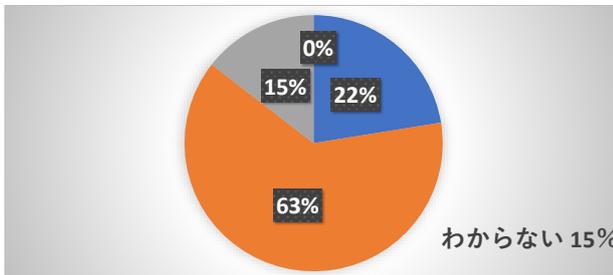
Q1. 学校は、生徒にとって分かりやすい授業を行っている。



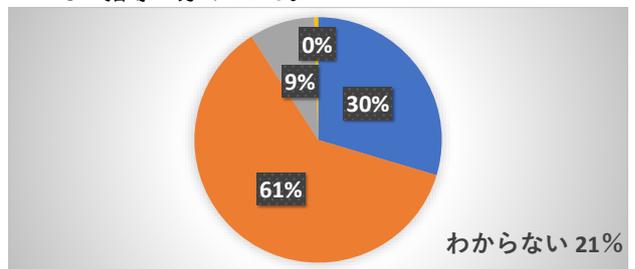
Q2. 学校は、学習者用端末を有効に活用している。



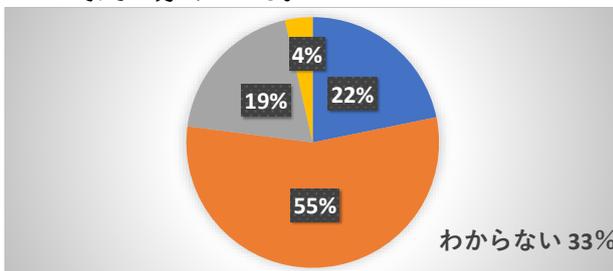
Q3. 学校は、生徒の体力向上や健康の促進に積極的に取り組んでいる。



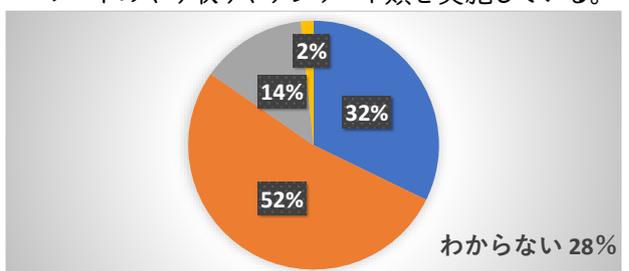
Q4. 学校は、道徳科の時間を含めた全教育活動を通して、自分と友だちの命を大切にすることや思いやりの心をもつ指導に努めている。



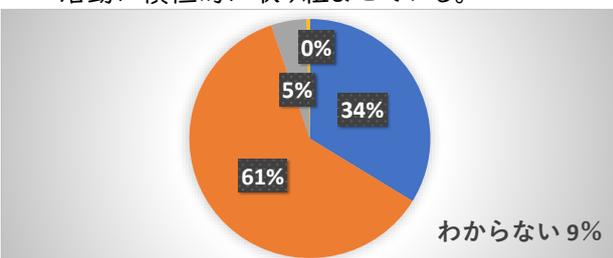
Q5. 学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めている。



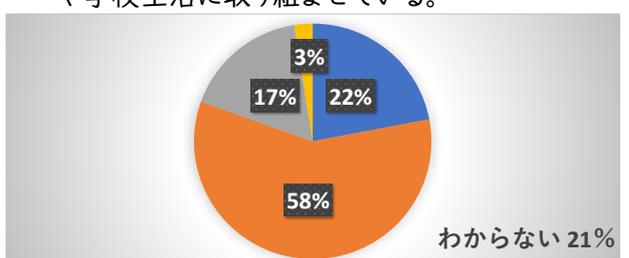
Q6. 学校は、生徒の小さな変化に気付けるよう、生活ノートのやり取りやアンケート類を実施している。



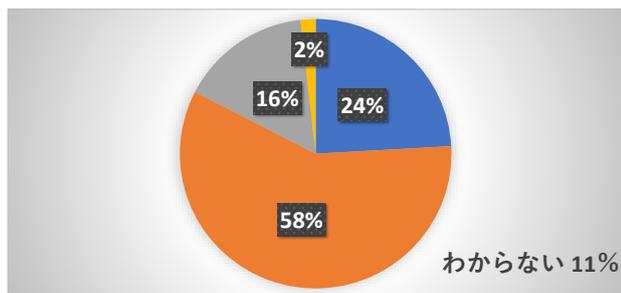
Q7. 学校は、生徒会活動や学級での係・委員会活動に積極的に取り組ませている。



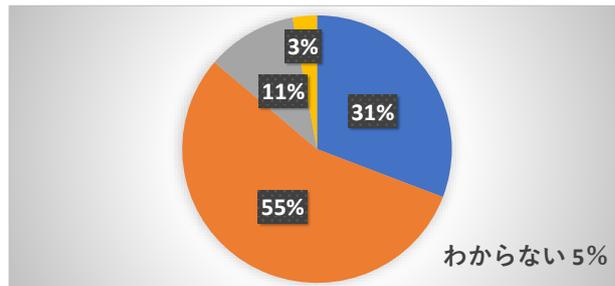
Q8. 学校は、将来の夢の実現のために真剣に授業や学校生活に取り組ませている。



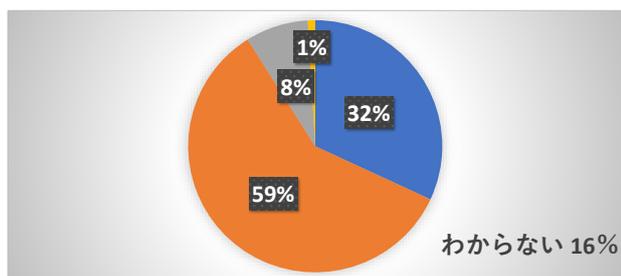
Q9.学校は、安全・安心な校内環境を整えている。



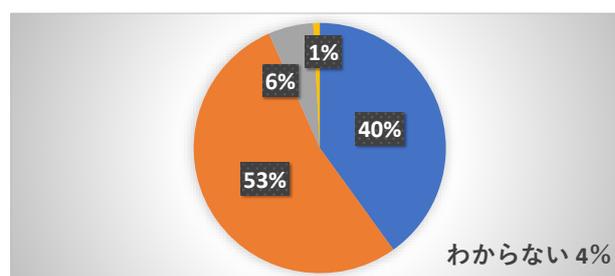
Q10.学校は、誠実に生徒や保護者に接している。



Q11.学校は、保護者・地域の方と協力して教育活動を進めている。



Q12.学校は、ホームページや学年だよりなどの通信を通して、学校や生徒たちの様子を分かりやすく伝えている。



後期学校評価に多くの保護者の皆様からのご回答、誠にありがとうございました。

平均して84.6%が「肯定的な回答」(そう思う・ややそう思う)であり、前期に引き続き学校運営全般におおよそご理解をいただいている、と捉えております。各項目の回答傾向も前期と大きく変わりませんでした。特に、Q4道徳教育(91%)、Q7生徒会・係・委員会活動(95%)、Q11保護者・地域との協力(91%)、Q12学校HP・学年だより等通信(93%)の4項目については、肯定的な回答が90%を越えました。Q4は、2学期に道徳地区公開講座を実施し、多くの保護者に授業を参観いただいたことも一因と思われます。そして、日頃から「考える道徳」の実践や、学級・生徒会・行事・部活動等の教育活動全般を通して「心」を育てていることが伝わっているのでは、と自負しております。Q7は前期と比較しても1%増となっており、全項目で一番高い数値でした。日頃の生徒会・委員会・係活動全般において「生徒主体」の方針で取り組みを続けていることに評価いただきました。Q11につきましては前期より更に2%上昇しました。今年度、特に学校経営協議会が様々な具体的な取組を行っており、活動を精査しながら協力いただいているPTAも含め、学校と保護者・地域の連携を感じておられる方々が多いことがわかりました。連携の強化は学校経営方針の第3の柱に位置付けており、引き続き努めてまいります。

一方、Q2学習者用端末(72%)、Q5いじめの未然防止・早期対応(77%)の2項目は「否定的な回答」(あまり思わない・思わない)が20%を超えました。Q2につきまして、「ロイロノート」の活用が1学期より各教科や学級等で進んでおります。また支援が必要な生徒への対応として、オンライン授業の配信も定着しています。しかし、授業や家庭学習での端末の活用は、各教科担当や学級担任等によって未だ指導頻度が異なっています。ユニバーサルデザインに基づく授業改善に向けて、年に3回の校内研修(授業研究)など、全校で取り組んでいるところです。また、端末の適切な管理についても課題があり、改善していきます。Q5に関しては、いじめ未然防止のため全校や学級での指導、年3回のふれあい週間でのアンケート実施、生活指導部会や校内支援委員会等の会議での頻繁な情報共有、更に定期的ないじめ対策委員会の開催など、学校として丁寧に取り組んでいますが、「わからない」との回答が33%に上がるなど、周知に課題の一端があると感じております。

いじめ対応の他に「わからない」と回答が比較的多かった項目は、Q4道徳心の育成(21%)、Q6生活ノート・アンケートの実施(28%)、Q8キャリア教育(21%)でした。後期も計画的に取り組んでいる内容ですが、今後「わからない」の回答を一つでも減らすことのできるよう、保護者会をはじめとした集会でお伝えしていくと同時に、HPやたより等デジタルでの発信を積極的に行います。今後も学校公開時にはご案内を差し上げますので、多くの皆様にお越しいただき、本校の教育活動を直接ご参観いただけますよう、お願い申し上げます。

その他30名の保護者から記述によるご意見をいただきました。生徒指導、働き方改革、環境面、個別対応等で励ましや感謝のお声をいただき、大変ありがたかったです。教科指導、定期テスト、評価評定、学校HP、学校公開、部活動運営、学校設備等でご意見をいただきました。できる事・できない事を検討し、必要に応じて工夫・改善をはかってまいります。今後とも本校へのご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。